



特別会計

国民健康保険や介護保険など特定の事業を行う場合に、保険料などの特定の収入で、その支出を賄うものです。このように独立して採算を行う事業を特別会計として、一般会計と別に経理しています。

会計	予算額	収入済額	収入率	支出済額	執行率
国民健康保険事業	205億7,600万円	84億3,783万円	41.0%	78億5,645万円	38.2%
土地取得事業	9,100万円	9,042万円	99.4%	8,400万円	92.3%
介護保険事業	180億8,700万円	79億9,564万円	44.2%	73億2,214万円	40.5%
後期高齢者医療事業	29億8,400万円	8億3,873万円	28.1%	5億1,053万円	17.1%



企業会計

地方公営企業法の適用を受けて、公営企業会計による独立採算制で行う会計です。沼津市では、病院事業(市立病院)、水道事業(上水道)、下水道事業の3つの企業会計があります。

	病院事業会計			水道事業会計			下水道事業会計		
	予算額	執行済額	執行率	予算額	執行済額	執行率	予算額	執行済額	執行率
収益的収入	115億5,198万円	56億8,660万円	49.2%	29億5,644万円	13億9,364万円	47.1%	53億7,104万円	31億369万円	57.8%
収益的支出	114億4,539万円	46億8,294万円	40.9%	27億5,988万円	5億2,552万円	19.0%	50億8,982万円	11億925万円	21.8%
資本的収入	6億9,199万円	2億312万円	29.4%	14億5,256万円	1,971万円	1.4%	45億5,450万円	1億8,784万円	4.1%
資本的支出	10億8,661万円	5億165万円	46.2%	34億8,134万円	7億889万円	20.4%	67億3,846万円	20億9,463万円	31.1%



市が所有する財産

※()内の数字は1人当たりの財産
人口は190,096人(令和4年9月30日現在)

市有地
土地
32,973,587㎡
(173.46㎡)

有価証券
7,403万円
(389円)

立木
117,667㎡
(0.62㎡)

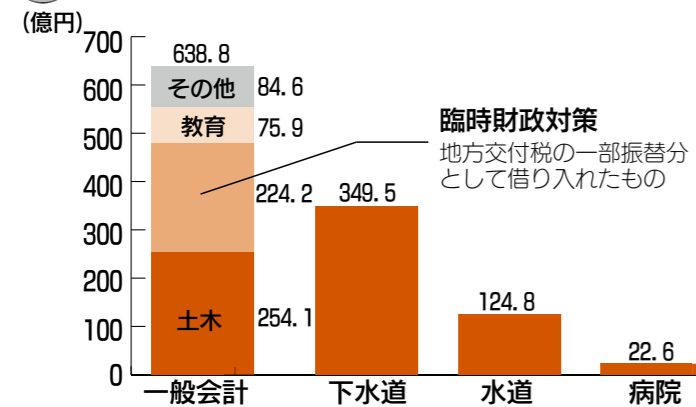
出資金
15億8,565万円
(8,341円)

建物
653,871㎡
(3.44㎡)

基金
201億298万円
(10万5,752円)



市債の現在高



市債の残高は、令和4年9月30日現在、約1,135.7億円です。
1人あたりでは、一般会計で約33.6万円、企業会計で約26.1万円となります。

※借り入れた市債は、道路や学校、下水道などの公共施設の建設等に充てられます。その施設が、将来の市民にも利用されることから、世代間で公平に整備費用を負担するための一つの方法です。

令和4年度上半期(4月1日～9月30日)の一般会計、特別会計及び企業会計における予算の執行状況をお知らせします。

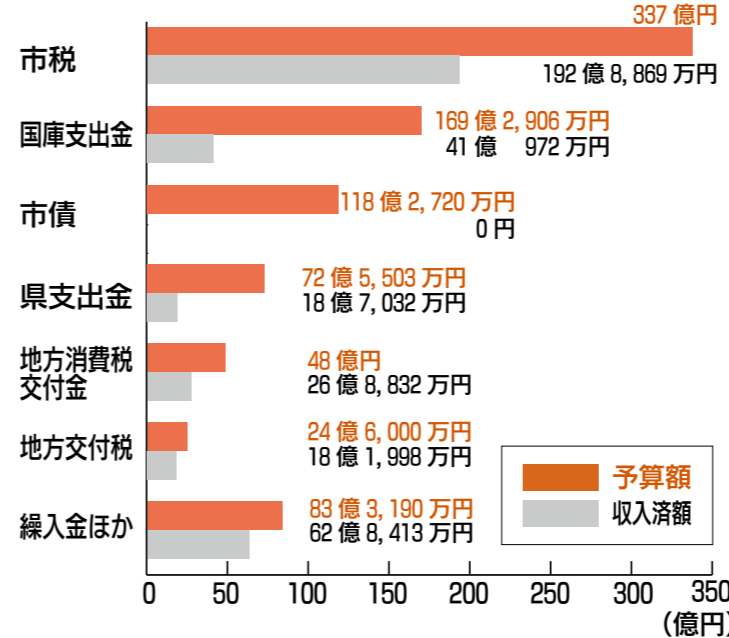


一般会計

市民税や固定資産税などの市税を主な財源として、市民のみなさんの暮らしに直接関係のある道路や学校の整備、福祉やごみ処理などの事業を行うための会計です。

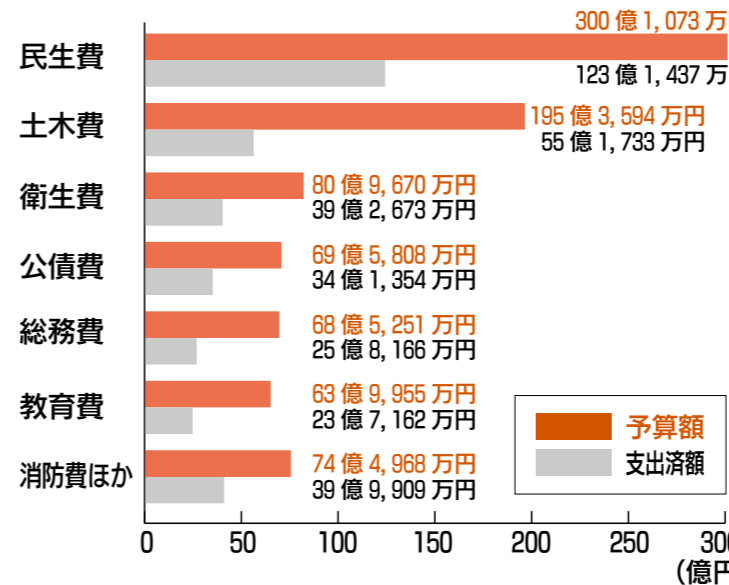
【収入】 予算額 853億319万円

収入済額 360億6,116万円



【支出】 予算額 853億319万円

支出済額 341億2,434万円



令和4年9月30日現在、予算額853億319万円に対して、収入率は42.3%、執行率は40.0%となっています。

用語解説

【収入】

市税

みなさんが納めた市民税や固定資産税など

国庫支出金

国からの補助金や負担金など

市債

市が建設事業などの財源に充てるために借り入れる長期の借入資金

県支出金

県からの補助金や負担金など

地方消費税交付金

消費税のうち国から配分されたお金

地方交付税

財源調整などのために国から再配分されたお金

繰入金ほか

基金などから繰り入れたお金など

【支出】

民生費

子供や高齢者等の福祉に使うお金

土木費

道路や河川整備などに使うお金

衛生費

保健やごみ処理などに使うお金

公債費

借り入れた地方債(市債)の返済金(元金と利子)など

総務費

市役所の経営管理、戸籍の管理、選挙などに使うお金

教育費

学校・生涯教育、文化・スポーツ振興に使うお金

消防費ほか

駿東伊豆消防組合の負担金や消防団の運営などに使うお金

令和4年度上半期予算執行状況

